

第6期中部WIN 第1回開催レポート

開催日時：令和5年9月6日（水）13:30～17:30
※10:30～12:00に受講ガイダンスを含むオリエンテーションを実施

●主催者挨拶 寺村 英信／中部経済産業局 局長



女性の社会進出を推進することに加え、キャリアアップを通じた経営への女性参画が進むことで、多様な経営判断がなされ、事業環境を巡る激しい変化にも対応できるものと考えている。今年、本講座を受講される皆様が、本講座を通じて人的なネットワークを構築しながら、管理職や、ゆくゆくは役員・経営者として活躍されることを強く期待している。また、グループワークでは「多様な人材を受け入れ、働きやすい職場」を目指した取組を考えることで職場環境を改善するきっかけとしていただき、ぜひそれぞれの組織でその取組を実践してほしい。

●講演「多様な人材が働きやすく、活躍できる職場づくりとは」 森永 雄太 氏／元 武蔵大学 教授

ダイバーシティ経営は近年注目を集めているが、ダイバーシティを成果につなげるにはインクルージョンが必要であり、リーダーの「他人の貢献を歓迎し、評価していることを示す言動」を始めとするインクルーシブ・リーダーシップにより部下の能動性を引き出していくことが重要である。インクルージョンの実現には、独自性と所属性の両方がポイントとなる。

職場における「いきいき」を捉える考え方である「ワークエンゲージメント」を理解し、仕事の資源を効率的に活用しながら要求度を適正化することによって、職場における「いきいき」を持続的に保つことが重要である。



●講演「多様な人材の活躍に向けた取組事例」 竹内 香予子 氏／平安伸銅工業株式会社 代表取締役



つっぱり棒を始めとする収納・インテリア用品の製造・販売を行う大阪市の平安伸銅工業株式会社は、ミッション・ビジョン・バリューの達成に向かう中で、自ずとダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けた取組を行っていた。経営トップ自らがビジョンを伝えバリューを体現し続けたことや、「組織のあり方」と「個人のあり方」の重なりを重視した独自の人事制度の策定、個々の違いを大切にする取組の数々が、社員の自発性を喚起し、エンゲージメントの向上にも寄与している。「創造的な摩擦」を大切にしながら、これからも「私らしい暮らし」を体現・発信していく。

●グループワーク「多様な人材を受け入れ、働きやすい職場とは」



●グループ集合写真



Aグループ

テーマ：従業員のエンゲージメントの向上に向けた取組



Cグループ

テーマ：女性の業務経験の不足を防ぐ取組



Eグループ

テーマ：女性だけでなく、LGBTQ、障がい者、外国人などの多様な人材が働きやすい企業の実現に向けた取組



Bグループ

テーマ：産休・育休後に職場復帰しやすくする取組



Dグループ

テーマ：ワーク・ライフ・バランスの向上に向けた取組